

令和7年度浜田市決算状況をお知らせします

令和7年度の一般会計決算状況は、歳入決算額が435億6,672万円（対前年度比3.9%増、歳出決算額が424億4,746万円（対前年度比3.6%増）、翌年度へ繰り越す財源3,771万円を除いた実質収支で10億8,155万円の剰余金が生じました。少子高齢化の影響により、引き続き社会保障関係経費（扶助費）が高い水準で推移していることに加え、資材価格の高騰や賃金上昇などの影響が見通せない中で、財政運営は先行きが不透明な状況が続いています。今後も継続して行財政改革実施計画を着実に推進し、持続可能な財政体質の確立に努める必要があります。

歳入総額 435億6,672万円

区 分		具体的内容
決 算 額		
自主財源	市 税	皆さんが納めた税金（市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税）
	98億7,662万円	
	分担金及び負担金	特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金（保育料・福祉施設入所負担金など）
	2億2,505万円	
	使用料及び手数料	市の施設の使用料や、住民票の発行手数料など
	3億9,536万円	
依存財源	繰 入 金	基金（市の預金）の取り崩しなどにより繰り入れたお金
	26億8,290万円	
	そ の 他	預金利子や市の貸付の返済金・事業受託収入・寄附金など
	39億9,266万円	
依存財源	地方譲与税	市に一定基準配分される、国が徴収した揮発油税や自動車重量税など
	4億2,672万円	
	地方交付税	市税収入の少ない市でも、市民に一定水準のサービスが行えるよう、国から交付されるお金（所得税や法人税・消費税・酒税などを配分）
	111億7,759万円	
	国県支出金	市が行う事業に対し、国や県が補助・負担するお金
	84億2,635万円	
	地 方 債	多額の経費がかかる事業（道路改修や災害復旧など）を行うために、国や銀行から借りたお金
	45億5,356万円	
依存財源	そ の 他	地方消費税交付金・交通安全対策特別交付金・地方特例交付金・配当割交付金など
	18億991万円	

令和7年度に実施した主な事業



周布橋の整備
（令和7年度事業費 3億8,604万円）
令和3年度に被災した周布橋の架け替えを行いました。



石見まちづくりセンター
長沢サブセンターの整備
（令和7年度事業費 2億4,585万円）
石見地区の社会教育や協働のまちづくり活動を推進する拠点として、サブセンターを新たに整備しました。



水産業競争力強化
漁船導入促進事業補助金の交付
（令和7年度事業費 5億8,734万円）
地域漁業の維持・継続に取り組みむ沖合底曳網漁業経営体に対して漁船取得費の補助を行いました。

歳入歳出差引額 11億1,926万円

【内訳】
・翌年度繰越金 3,771万円…令和8年度に延長して行う事業に充てられます。
・剰 余 金 10億8,155万円…「財政調整基金」に積み立てるほか、翌年度の自主財源として活用します。

特別会計・公営企業会計

■特別会計		(単位：千円)			
会 計 名		歳 入	歳 出	実質収支	
国民健康保険	事業勘定	5,471,598	5,469,783	1,815	
	直診勘定	278,683	278,683	0	
駐車場事業		25,419	25,419	0	
後期高齢者医療		1,075,978	1,048,568	27,410	

■公営企業会計		(単位：千円)			
会計名		歳 入	歳 出	差 引	
水道事業	収益的収支	1,919,369	1,711,334	208,035	
	資本的収支	1,256,302	1,864,427	△ 608,125	
工業用水道事業	収益的収支	148,327	136,659	11,668	
	資本的収支	10,231	18,702	△ 8,471	
下水道事業	収益的収支	939,942	888,743	51,199	
	資本的収支	1,601,653	1,946,902	△ 345,249	

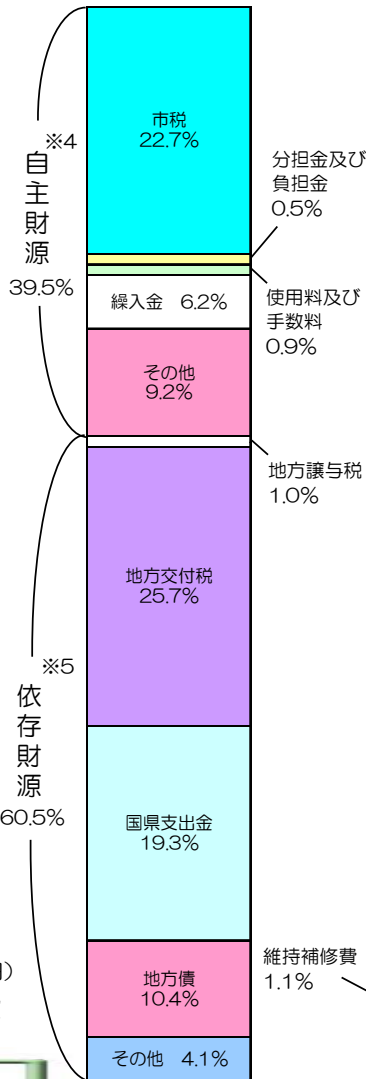
※資本的収支の不足額は当年度分損益勘定留保資金等で補っています。

浜田市の会計には、一般会計のほか、特定の収入で支出を賄う特別会計が令和7年度時点で3つあります。
また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業、下水道事業の公営企業会計があります。

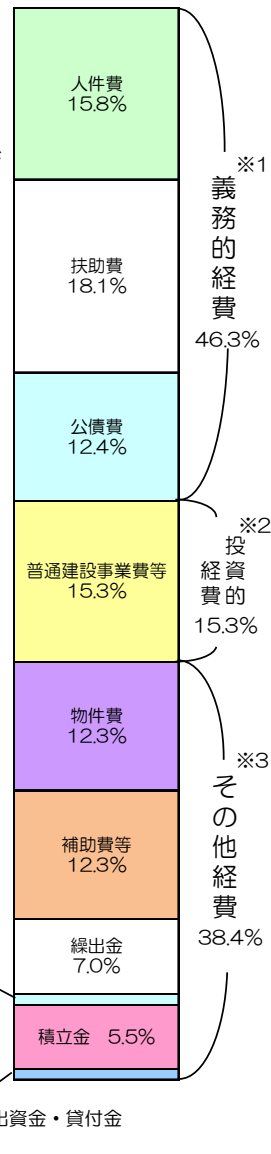
主な会計の状況

・国民健康保険特別会計		
項 目	本市	県内平均
被保険者数（年間平均）	7,794人	5,398人
一人当たり医療費	568,240円	529,840円
・水道事業会計		
項 目	令和7年度	対前年度比
年度末給水人口	46,173人	97.9%
年間配水量（①）	7,333,147㎥	98.3%
年間有収水量（②）	5,605,932㎥	97.6%
有収率②／①×100	76.4%	0.6ポイント減
・下水道事業会計		
項 目	令和7年度	対前年度比
年度末接続済人口	9,757人	98.4%
下水道普及率	25.2%	0.1ポイント増
年間有収水量	967,609㎥	97.2%
1日平均処理水量	2,651㎥	97.2%

【歳入】



【歳出】



歳出総額 424億4,746万円

区 分		具体的内容
決 算 額		
義務的経費	人件費	市職員の給与や共済費など ※職員の給与などの詳細は、広報はまだ令和8年3月号に掲載
	67億1,457万円	
	扶助費	生活保護や高齢者・乳幼児の医療費など
	76億9,350万円	
投資的経費	公債費	市が借り入れた地方債の支払に要する経費
	52億5,452万円	
その他経費	普通建設事業費等	道路・橋りょう・学校など公共用又は公用施設の建設に要する経費及び災害復旧に要する経費
	64億8,994万円	
その他経費	物件費	旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料など
	52億717万円	
	補助費等	各種団体に対する補助金・交付金・負担金など
	52億1,467万円	
	繰出金	一般会計から特別会計などに対し繰り出した経費
	29億5,006万円	
	維持補修費	市が管理する公共用又は公用施設などを維持するために必要な補修経費
	4億8,654万円	
その他経費	積立金	基金に積み立てる経費
	23億4,105万円	
	投資及び出資金・貸付金	公営企業会計への出資金や、政策金融・学費の支援などを目的として貸付を行うための経費
	9,544万円	

※1 義務的経費：歳出のうち支出が義務付けられ、任意に節減ができない経費

※2 投資的経費：道路・学校・公園・市営住宅の建設など、社会資本の整備などに使う経費

※3 その他経費：特別会計への繰出金や補助費等のほか物件費など、通常の行政活動を支える経費

※4 自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のこと

※5 依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や、政府・銀行などから借り入れた収入のこと

浜田市の財政指数

指 数 名	内 容	令和7年度 算定結果	財政健全化法	
			早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 率	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計の赤字額の割合	—	12.41%	20.00%
連 結 実 質 率	1年間の標準的な収入と比較した、特別会計や公営企業会計を含む全ての会計を合算した赤字額の割合	—	17.41%	30.00%
実 質 公 債 費 率 （3 か 年 平 均）	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計が負担する借金などの返済額の割合	7.9%	25.0%	35.0%
将 来 負 担 率	1年間の標準的な収入と比較した、将来一般会計が返済する借金などの負担割合	8.9%	350.0%	—

浜田さん家の1か月分の家計簿を見てみましょう

※決算額（一般会計）を1万分の1に縮小し、さらに12分の1にして1か月分の家計簿風にしてみると…

収 入	市の性質別区分	金 額
給 料	市 税	8万2千円
家賃収入	使用料及び手数料など	3万9千円
預金の取崩し	繰入金	2万2千円
親からの援助	地方交付税・地方譲与税など	11万2千円
兄弟からの援助	国県支出金	7万円
借金	地方債	3万8千円
収 入 合 計		36万3千円



収入合計から支出合計を差し引いた金額は、毎月約9千円、1年で約11万2千円となりました。そのうち、約4千円は翌年度に使うこととし、残った約10万8千円は『財政調整基金』銀行への預金などを行います。

支 出	市の性質別区分	金 額
食 費	人件費	5万6千円
医療費・保育料など	扶助費	6万4千円
ローンの返済金	公債費	4万4千円
家の増築費・新車購入	普通建設費・災害復旧費	5万4千円
光熱水費・日用雑貨代	物件費	4万3千円
町内会費・ご祝儀など	補助費等	4万3千円
子どもへの仕送り	繰出金	2万5千円
定期預金	積立金	2万円
家や車の修理代・友人へ貸したお金	維持補修費・投資及び出資金・貸付金	5千円
支 出 合 計		35万4千円